

 <p>一般社団法人熊本保育園連盟</p>	<h1>市保連 だより</h1>	<h2>2023 (5月)</h2>	<p>令和5年5月1日発行 一般社団法人熊本保育園連盟</p>
			<p>発行責任者 上野 誠之</p>
			<p>調査広報委員会</p>
			<p>委員長 今村 弘之 委員 宇治 正信 緒方 隼人 沖田 照生 角田 信也 豊田 亮</p>
		<p>[第524号]</p>	<p>〒860-0004 熊本中央区新町 2-4-27 熊本市健康センター新町分室 2階 TEL(096)322-0096</p>

## 新年度を迎えて 理事長 上野 誠之

すでに3年もの間、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に取り組みながら保育が行われています。5月8日からは、いよいよ感染症の位置づけが第2類から第5類扱いとなり、季節性インフルエンザと同じ扱いになります。

振り返ると施設で感染者が確認されると保健所の介入があり、濃厚接触者についての調査に協力し、さらには消毒業務も増え、ひっ迫する医療機関や保健所業務の軽減から、保育者がその業務を担う期間が相当あり、日頃の保育業務に加え、検温や施設での消毒業務、機材の購入など、それはそれは大変な時期を過ごしてきました。

保育者にとって子どもとの密接な関わりの必然性から、自ら感染をしてしまうことや濃厚接触者となり隔離され、業務上致し方がない感染であるにもかかわらず、施設で支えてくれる保育者に対して、申し訳ない気持ちになってしまうこともあったと思います。それは保育者自身が、子どものために懸命に、献身的な職務であることの認識だからのことです。また、そのことは、社会活動を下支えする就労支援でもあり、保育施設の存在を社会が少しずつ認識してくれました。しかしながら、ごく一部の施設において不適切な保育が指摘され、とても残念な思いであります。4月からこども家庭庁が発足し、こどもまんなか社会を目指すにあたって、保育現場の業務と処遇の改善にも目を向けて頂くよう願うところです。



## 3 月臨時総会



令和5年3月15日(水)にくまもと県民交流会館パレオ 10F パレオホールにて、令和4年度3月臨時総会が行われました。北部ブロックあゆみ保育園田中議長の進行により、第1号議案令和4年度収支予算の変更(補正)について、第2号議案令和5年度事業計画について、第3号議案令和5年度収支予算について審議され、全ての議題が賛成多数により承認されました。3月臨時総会へご出席をいただきありがとうございました。

## みんなが大好きなお外遊び 木の葉こども園



当園には園庭が二つあり、一つは未満児クラス用、もう一つは以上児クラス用に分かれており、それぞれの年齢にあった環境が整えられています。滑り台にはボルダリングが付いており、はじめは登るのが難しかった子どもたちも何度も挑戦するにつれて登れるようになり「みてー！」と嬉しそうに登る姿に、成長を感じ私たちも嬉しくなります。お

天気がいい日はお外で遊び、広々とした園庭を走り追いかけてっこをしたり、植物や虫を観察したりして、生き生きと遊ぶ姿が沢山見られます。暖かい日にはガチャポンプで水遊びも楽しめ



また、園庭以外にも運動公園が隣接しているため、散歩に出かけて、秋はイチョウの葉や木の実探しに夢中になったり、春には満開の桜を見に出掛けたりします。四季の自然を身近に感じ、発見を楽しむことができる外遊びでの活動で、私たちも子どもたちものびのびと過ごしています。



## 園の活動紹介 城高保育園



昭和6年に幼稚園として創立された私共の園舎のホールには、仏様がいらっしゃいます。当代の園長は4代目で、初代と2代目の園長は亡くなっており、二人の園長の命日には以上児の子どもたちと一緒に仏様にお参りします。そして、お参りの後は必ず園長がお話をします。また、園庭にはお



地蔵さんがいらして登園と降園の折には、みんなご挨拶します。8月の地蔵盆には全クラスでのお参りです。大きな節目の行事である、入園や卒園の時には、先ず仏参(ぶっさん)から始めています。普段から仏様の存在やまなざしを感じながら園で過ごしている子どもたちは、自然と尊いものを敬う子どもになっています。創立から今日まで90有余年、初代園長の願いである「美しい心、たくましい体」を教育・保育目標に、子どもや保護者、職員だけでなく縁あるたくさんの人たちが心安らげる施設になるよう、日々奮闘精進しています。



## こどもの笑顔のために 清水ヶ丘こども園



一つにお楽しみ会があります。例年であれば、外部から人形劇団やマジックショー等プロの方をお招きして行っていました



桜の蕾が膨らみ、園庭のチューリップが春風に揺れる気持ちの良い日に24名の卒園式が行われました。小さな不安と大きな期待に胸を膨らませたこどもたちの顔を見ながら、令和4年度の様々な行事を思い出しました。コロナ禍の中、今までとは形式を変えたり縮小したりと試行錯誤を繰り返しました。その中の



ため、久しぶりに職員による出し物で楽しんでも

らうことになりました。手作りの衣装をつけて、こどもたちと一緒に「ジャンボリミッキー」を踊ったり、仕事の後に練習した、人形劇や、合奏、ハンドベルとトーンチャイムの演奏など、準備は大変でしたが楽しいひと時でした。そして、こどもたちの笑顔や歓声で職員も元気づけられた(若返った?)気がしています。



## 親子クッキング みのり保育園



コロナ禍で行事やイベント等が中止となることも多くなり、園内での活動についてもあらためて見直す機会が多くなりました。身近なことから、体験を通した深い学びを充実して、子どもたちの日常がさらに輝くことを目的に子どもたちの声から親子クッキングを再開しました。

例年、玉ねぎ、サツマイモ、お米を子どもたちと栽培、収穫をしています。今回は、収穫した食材で皆で何か作れないだろうかという話の中から、豚汁と羽釜で炊いたご飯を食べたいということになりメニューが決定しました。食材で足りないのは、味噌ということになり、まずは親子で味噌づくりを行いました。大豆を触る感触にビックリしながら、夢中になっ



てとても楽しそうに親子味噌づくりを終えました。味噌が完成するまで各家庭で味噌の発酵状況など、完成までの過程を楽しんでいる様子が印象的でした。いよいよ、味噌が完成して、親子クッキングとなりました。前日には子どもたちとお買い物に行き、お店で蓮根や様々な食材に興味を持ち、具沢山の豚汁となりました。卒園前に親子で体験ができたことで、自信に満ち溢れていた子どもたちでした。小学校へ入学してからも、園での経験が一つでも生きていく力となり、親子の会話が増える時間になればと願っています。



# 市保連だよりアンケート募集

市保連だよりについてのアンケートを行います。

市保連だよりについてのご意見も募集しております。

下記の QR コードよりご記入ください。



いただいたご意見をもとに、より魅力的な紙面となるよう

調査広報委員会で検討を進めていきます。

ご協力をよろしくお願いいたします。



〆切 4月28日(金)まで

市保連だよりアンケート

## 5月の予定

春の自然楽校	5月14日(日)	立田山野外保育センター(雑草の森)
通常総会・保育研究大会	5月27日(土)	ホテル熊本テルサ

### ご結婚おめでとうございます



こじか園 令和5年3月19日 保育教諭 野田 萌夏 先生(旧姓:永野)  
 清水ヶ丘こども園 令和5年3月21日 保育教諭 木澤 藍子 先生(旧姓:清田)